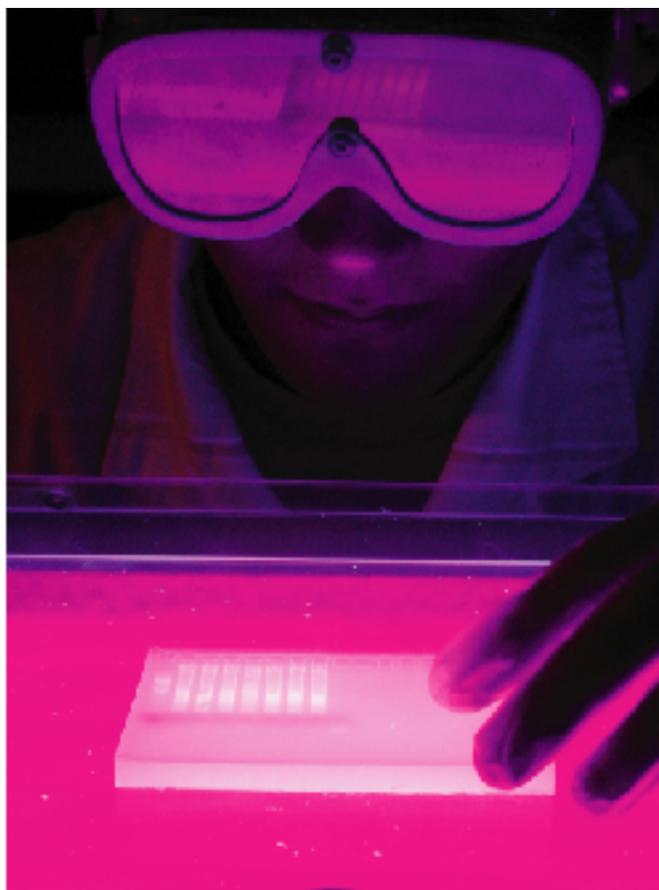


畜試 ニュース

Technology News and
Information of Hokkaido
Animal Research Center



紫外線によるDNAの検出-受精卵の遺伝子検査-

ご挨拶

BSE発生にともなって大幅に低下した子牛や牛肉の価格も発生前の水準に近づき、本道畜産もようやく深刻な影響から脱しつつあるようです。今後もBSE感染の心配のない安全・安心な道産畜産物の生産を支援するため、異常プリオン検査法、疑似患畜牛の調査、飼料中の動物性蛋白混入の有無の検査などに取り組んでいきます。

当場も新体制でスタートしてから3年目となり、黒毛和種雄牛の改良、クローン牛の作出技術、遺伝子診断技術を用いた受精卵の効率的な性判別や伝染病・遺伝病の検査法、近赤外分析を用いた牧草・飼料作物の栄養評価、低コスト簡易施設による糞尿処理法の実証展示、自動哺乳装置を用いた子牛育成技術など次々と成果が出てきています。この他に実施中の多くの課題も順調に取り組まれており、その結果にも大いに期待しています。当場が取り組む試験課題への要望、技術相談などお気軽にお寄せいただければ幸いです。

(場長:田村千秋)